

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 6月号 (NO62)

2015年6月10日 (水) 発行 (毎月10日)

【農暦】ジャガイモの葉がすだれ状態になっていた！

○今日6日は肌寒い。薄手のシャツで出かけようとしたら寒い。ジーンズのシャツを羽織った。ちょうど良い。柏の街中を歩いている人はそれぞれだが、私のように長袖を着ている人も少なくなかった。私の気温感覚は余りずれてはいないとほっとした。さすが昼には脱いだ。寒暖の差や農作業を少し頑張っただけで抵抗力が落ちたのか2-3日前から時季外れの鼻風邪をひいていた事もあって無意識に大事をとっていたのかもしれない。異常気象か天気がやはり変である。すっかり異常気象が慣用句になってしまった。

○夜半に激しい雨が降っても、表面だけで下は乾燥している。草払い機で除草すると土煙りが上がる。遅く定植した茄子、ピーマン、キュウリなどの発育が今一つで、心配された枝豆の発芽も何となくところもとない。乾燥に強いトマトだけは元気に発育している。緑のカーテンにとゴーヤを植えた。整地などで草取りをしたが、草の根の張り方は凄い。上部の数倍の根を張っている。日照りでも繁茂力が衰えない。まさに“雑草の如く”である。茄子などが大きく成育しているところを見ると、今年はずっと早く植えれば良かったと思った。水やりなど、その時々々の天候に対応が出来れば、別の結果が得られたのかもしれない。

○いつも黒豆、小豆を作っている畑の一部にジャガイモと里芋は植えてある。黒豆、小豆の播種を控えて耕起していたが、草の繁茂力は乾燥していても変わらない。刈り残しになっていた畔は、特に凄い。5日にはマルチを掛け落花生を定植した。隣のジャガイモの葉がすだれ状態になっていた。除草する前は虫に食われていなかったのに除草する事で虫がジャガイモに集中してしまったのかも知れないと思った。除草直後の激変である。



＜群生地の中のツツジ＞那須の八幡南ツツジ
群生地を散策する。20日撮影

○数年前に虫がいつぱいの畑を見(見学)てショックを受けたことを思い出した。たまたま異常発生したのかもしれないが、農薬を散布しない畑に虫が逃げ込み集中した結果ではないかと思った。こんな事を書くと除草をしっかりとやれと言われそうだ。いつも反省しているのだが実行は今一つである。慣行農家と有機農家と畔を境に葛藤があったとの話をよ

く聞いた。今でこそ有機農家は市民権を得ているが、当初がいろいろあったようだ。
○畑は実践力に見合った面積に縮小してはと仲間からよく言われる。今年は早くも反省する事態が起こってしまった。手伝ってくれる人や部分的に栽培してくれる人がいるのであるが“他力本願”ではいけない。親鸞の言う他力本願の真の意味とは違い、他力依存になっては解決するものではない。天気はきままである。黒豆、小豆の播種は少し早めにした。その準備は今からしても決して早くはない。反省の気持ちが残っている内に、実行に移したと思う。

【楽農】トマト、落花生の定植をする！

<畑 A> ; トマトの定植、茶豆の播種。
インゲンの定植（補充）

<ハウス> ; トマトの定植、

<畑 B> ; カボチャ、落花生、トマトの定植。トラクターで耕起、草
払い機で除草

* 緑のカーテン用のゴーヤの定植。
草払い機で周辺の除草など。



<我が菜園> トマト、茄子、トウモロコシなどが、。奥にはジャガイモの畝。ここまで戻して見たい？2005年6月16日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○その他 ; 共生の会例会（14日）ピッコロファームの例会（19-20日）講演（ ; 農業女子に聞きました）会（23日）法事（30日）エコピア柏総会（6日）参加など。

*ピッコロファームの例会をKさんの那須別荘で行った。援農、温泉、那須高原のつつじ散策などをした。つつじも良かったが何よりも新緑が素晴らしかった。

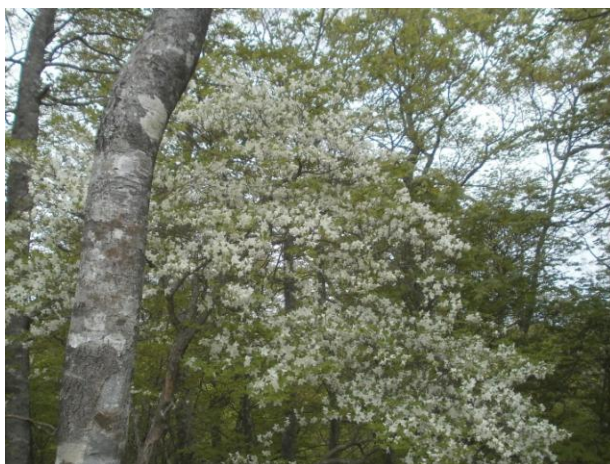
（ピッコロファームのブログに掲載。）

【つぶやき=Tweet】「美は乱調にあり」でなく「不美は変調にあり」か！

○また重い話題になると思いがちながらも高齢・介護と歴史認識についてニュースに触れ関心のあるテーマなので書いてしまった。1つ目は、「民間有識者でつくる日本創成会議（座長・増田寛也元総務相）は4日、東京など1都3県で高齢化が進行し、介護施設が2025年に13万人分不足するとの推計結果をまとめた。施設や人材面で医療や介護の受け入れ機能が整っている全国41地域を移住先の候補地として示した。」4日の日経ニュースで報じていた。41地域には茨城は入っていなかった。介護関係の車両がめだって多くなって来ていると気になっていたが、これからは更に増えるのだろうと思う。これからお世話になるのだと思うと“生き甲斐や尊厳が保たれたもの”であって欲しいと思うのだが、福祉予算の抑制が言われ続けている所を見ると厳しいものが容易に想像される。出来るなら健康寿命だけに

したいものである。

○2つ目は、5日のNHKの朝ニュース『おはよう日本』で放送した「日本の歴史家を支持する声明」を扱った”歴史認識”に求めるものは“である。多くの賛意が寄せられていると云う。また、4日開かれた、衆議院憲法審査会の参考人質疑で、集団的自衛権行使を可能にする安全保障関連法案について、与党推薦の学者と野党推薦の学者の3人全員が「憲法違反」という認識を表明した。と云うものである。民主党推薦の小林節慶応大学名誉教授は、「後方支援というのは日本の特殊概念だ。要するに戦場に後ろから参戦する、前からはしないというだけの話だ」「露骨な戦争参加法案だ」と述べたという。この2つのニュースに聴き、マスコミも学者も識者も総与党化の傾向にあると気になっていたのも、新鮮なものを感じた。頑張っているのはラジオだけではないと思った。良い方向にと願いたいものである。



<ゴヨウツツジ>那須ゴンドラで山頂（海拔1410m）へゴヨウツツジ群生地を散策。春先の天気の影響か？花を付けない木が多い。20日撮影

○四十にして惑わずというが、迷いごとばかりである。五木寛之が「選ぶ力、生きる力」で、“人生は選択の連続である”と云っている。いまだ、迷いの選択の連続である。五木寛之の生きる力の特集が気になって手にした“オール読物”に載っていた。笠間図書館のリユース本である。瀬戸内寂聴と柴門ふみの対談も載っていた。“昭和の大ベストセラー「美は乱調にあり」を柴門さんが漫画化！大正時代のフリーラブから現代の草食系男子、90歳の“もやもや”まで語り尽くします“とリードに書かれた。「美は乱調にあり」は魅かれる題名である。自分に合わせるなら「不美は変調にあり」になってしまう。五木寛之の親鸞は読んだが、他力本願の行き方も出来ない。

○今日（9日）トニー賞で惜しくも主演男優賞を逃した”王様と私“の渡辺謙のニュースが流れた。渡辺謙は宮沢賢治の“雨ニモマケズ”の朗読もやっている。“雨ニモマケズ”の最後には法華経の文字が書かれている。“雨ニモマケズ”は『法華経』の常不軽菩薩の精神を表していると云う。学ぶべき題材は多いが、私には「不美は変調にあり」の人生が分相応の様だ。“元始、女性は太陽であつたの平塚らいてう”も出て来たが、特に老齡期の女性は男に比べて元気に見える。老いては女に従えも悪くない。

【後記】 田圃の緑 木立の緑が素敵な時。
笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話：090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.com

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>